

RE30

RUBBISH Selecting Squad's EROTICA 30 Fate/stay night FANBOOK



For ADLUT Only



何を犠牲に
しても

俺の大切なものを
守ると誓ったのに

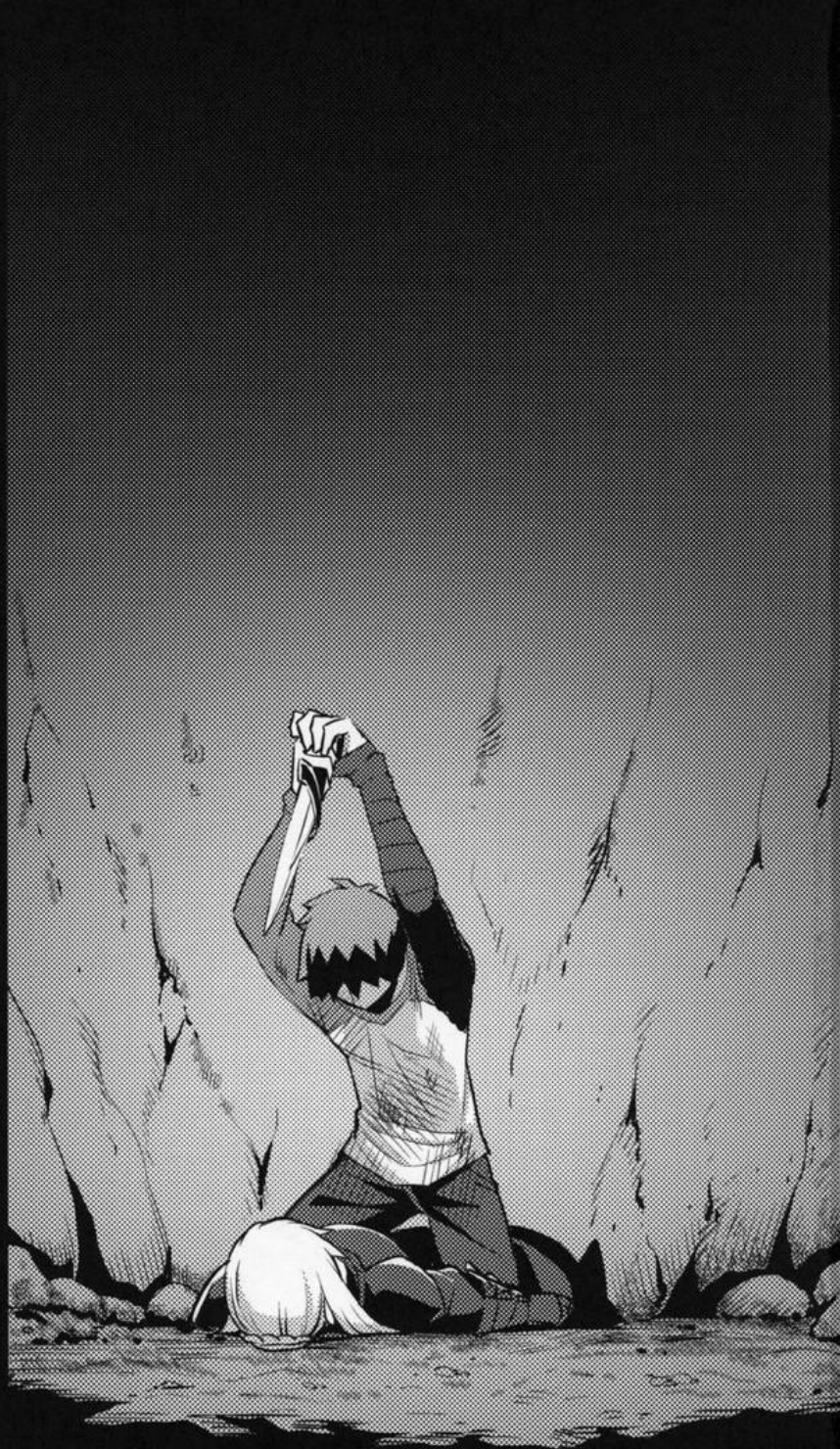


あの夜を

あの奇跡を



あの永遠の風景を
忘れる事が
出来なくて



俺はその手を
振り下ろせなかった



だが



その代償が
これだ

誇り高
可憐だ
彼女が
だった



鮮華
ややか
女がか
かだっ
た



そして俺が一番
守りたかった
彼女が

動物のように
喘ぎ

悶え乱れ

だが同時に

かつての
彼女達からは
想像もつかない様に
眩暈を覚える



ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
アッ
ゴゴゴ

途方もない
興奮と

快感にも
襲われる

俺の身体に
繋げられた
肉の群れが

彼女達を汚し
犯しつくす
感覚を

脳に
焼き付けてくる

繋がっているのなら
動きを
止められないか

そう思い何度も
抵抗してみたが
当然のように
自由は効かない

かろうじて
左腕は動きそう
だが――

がッ

ああああッ!

指先を
動かすだけでも
頭をすり潰される
ようで…

ダメれすよ
先輩…ッ

さ…くら…
もう痛い事らんで
しなくへ
良いんれひゅ♡

気持ちいい事らけ
考えて…♡



ほら
姉さんや
セイバーもお

誇りだとか
名誉だとか
理想だとか

そんな事忘れて
先輩のおちんぽに
夢中れひゅ♡

初めての時は
あんなに
嫌がったのに♡

すっかり
メスの顔になって

うふふふ

人お♡



そう結局
二人もただの女♡

オマンコ
されるの
らいすきな
ただのメスブタ
なんれひゅやお

あははは♡

初めての
……とき……

傷んだ頭で
思い返す…

あの後…

彼女を
殺せなかった
後の事を

俺の甘さを
恨み

その場から
去った彼女を
追いかけて

そうして
洞窟の最奥
大聖杯の前で

俺は——

桜に…

おぞましい程の
何かを感じ
おののき

泥に飲まれ

そして

いやああッ

あッ

ヤッ

許して
お願いッ



やだッ

やいやッ

ももう無理ッ

ああ



気付けば
肉塊に飛ばされる
遠坂を
目にしていた



アああッ!!



かき回されるッ?!



やああッ

おお腹の
なかッ



うふふ
懐かしいなあ

私も初めての時は
気持ち悪さと
気持ちよさに

頭の中おかしく
なりそう
で泣きじゃくったっけ

でも姉さん？

姉さんはもう
遠坂のご当主で

しかも先輩の前
なんだから
もう少し
恰好つけないと



臭くて
気持ち悪くて



わ私こんなの
知らないツツ！
無理なのツツ！

ししろ…うツツ！

たすけて
おねが…ツツ！



こんなので私…ッ

やいやッ

なのにお腹の奥が熱くなつて痺れて



しろ…おッ!

士郎…ッ!

お願い助け…てッ!





触手に
…犯されへ…
イってりゆ…

いやあ…
あた…ひ…



あつははははは
いいですよ
姉さん

最高に無様な
初アクメです



オマンコの事しか
考えられない
身体にして
あげますからね

でもまだまだ
これから



心の底から
楽しそうに笑う
桜を見守るしか
なかった

だが全身の自由を
奪われた俺は
子供のよう
泣きじゃくる
遠坂と



シヤッ

ズン
ズン

おッ

そして
セイバーも

離せ桜ッ
この戦いは
貴方の勝利だ

ならば私は
聖杯に願いを託し
この地を去るのみ

ふざけた座興に
付き合う
つもりはないッ

そんな恰好で
言われても
滑稽なだけよ
セイバー

それに貴方も
もう気付いて
いるでしょう？

冬木の聖杯は
そんな
都合の良いもの
ではないって

だったら――



お願いを諦めて
新たな喜びを
見つけても
いいんじゃない？

ツ!
!?

ケン!
ケン!
ケン!





さすがセイバー
姉さんと違って
強いよね

ふ…さけるな

さく…らッ
貴方は…ッ



でもね

ッ!?

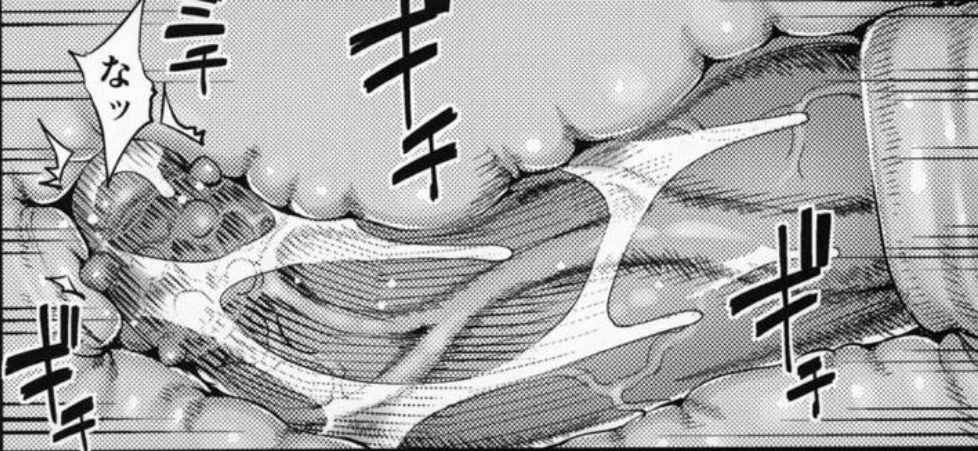


あああ!!

あッ

ああ!!

私が観たいのは
そんな顔じゃないの



しかも英霊たる
その身体なら



ただの人間には
許容しきれない程の
快楽でも
受け止められるはず

!?

キキキ
ニヒニヒ
ニヒニヒ
ニヒニヒ
ニヒニヒ
ニヒニヒ
ニヒニヒ
ニヒニヒ

な、そんな…ッ

ひやめろ…ッ

やめ…



セイバー
貴方には感謝して
いるけれど

私、貴方の事が
嫌いな

綺麗で強くて
理想の為に
闘う騎士の王



そして先輩の
サーヴァント…



初めて見た時から
気に入らなかつたわ





桜の
サーヴァント
である為

令呪の縛りも
あるのかも
しれないが

それでも
脅威的な
力を持った
セイバーすら

赤子のように
扱われる様に

俺はもう
絶望するしか
なかったか



だがこれ程の
凌辱すら

ほんの戯れに
過ぎなかつた事
俺は思い知る

ズ
ン
ン

ズ
ン
ン

ぐ
あ
ッ

ズ
ン
ン

あ
ッ

が
ッ

ズ
ン
ン

ズ
ン
ン

や...やめて
くれ...桜...

もう無理
...だ

何言ってる
んですか？
先輩

30回程度の
胎内出しじや
私全然満足
できません

回復に
魔力を回して
あげてるんだから
もつと頑張つて
くれないと



落ち着いて
ください

士郎はもう
限界です

ライダーは
全てを
諦めたのか

自ら桜に
従っていた

これ以上は
命があやうい

今は少し
焦らすくらいが
良いのでは？

今の彼女を
前にしては
無理もない





はあ
やっぱりダメかあ

ねえ先輩？

先輩の事は
愛してますし

オチンポも体力も
それなりに立派だと
思います

でも私



兄さんよりは
全然マシです



こんなのじゃ
全然物足りない

子宮の奥まで
貫いてくれる
男らしいチンポが
好きなんです

だから先輩？



もっと大きく
遅しく
なってください

…っあ

やめ…

さ〜…さ〜



子宮いっばい 埋め尽くす 極悪ちゃんぽッ♡

これッ♡ こういうオチンポ 欲ひかったッ♡

先輩とのセックスれ
イッたふりしなくて♡

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

胎内出しアクメの
ふりしなくて♡

本気でツ♡

おまんこの奥ツ♡

子宮から
思う存分ツ
ガチアクメ
決められりゅうツ♡



ま...待って...
桜ッ♡

これは無理ッ♡

わらひでも
こわれて
しまッ

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡



あッ♡

いいのよ
ライダーッ♡

イッてッ♡
イキ狂ッてッ♡

先輩は
私のモノだけドッ♡

先輩のオチンポは
こんなにいっぱい
あるんだもの♡

貴方にも
最高のアクメを
与えてあげるッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡

あッ♡







ガッガッ

ガッガッ

グニッ
グニッ
グニッ

グニッ
グニッ
グニッ

ガッガッ

ガッガッ



狂乱の果てに
絶頂を迎える
彼女達の姿は

悪夢以外の
何物でもなかった



絶望的な光景と
破滅的な快樂に

オレの頭は
本格的に壊れようと
していたが



時折走る
左腕からの
傷みに



無理やり
現実へと
引き戻された

おかげで
より狂気を
深めていく現実を

正面から
受け止めて
行く事となる

RE30

to be continued ?

■あとかき

色々大変な世の中ですが、幸い自分の周りは影響少なく。
まあ半年後くらいにどうなってるかわかりませんが、
粛々といやらしい本の制作にまい進しつつ、
日常が取り戻される事を祈るばかりです。
この本が出る頃にはHF3章の上映予定とか決まってるの良いな。

さて、今回の内容ですが多分もうちょこっと続きます。
年末までには形にしたいところ。
多分それまでにボクッ娘本の続きも出す予定ですので、
気が向いたらよろしく願いいたします。

それではまた。

2020年5月
新規ガチャが回せない事に物足りなさを感じている某日
無望菜志

■RE30■

発行

RUBBISH選別隊

発行日

2020年05月25日

印刷

(株)PICO

連絡先

rss@rubbish-ss.net

HP

<http://rubbish-ss.net/>

RE30
R-18 FOR
ADULT
ONLY

RUBBISH 選別隊